

ちちぶ吉田元気村多電源化実証実験事業

次世代型環境学習施設「吉田元気村」での取り組み

林業従事者
林地残材の搬出



木質バイオマス発電所



施設への
電力供給

地元企業から寄贈
(株式会社シバサキ)

体育館照明の
LED化(14基)
(新技術の実証)



地域住民
使用済み
てんぷら油の提供



てんぷら油リサイクル工場
(バイオディーゼル燃料精製)



牽引式バイオディーゼル燃料
(BDF) 発電機

廃てんぷら油の提供エリア拡大
秩父市のみ → 秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町

<定住自立圏構想での取り組み>

- ◆効果◆
- ・施設内への電力供給(LED等)
- ・災害時の非常用電源
- ・EV(電気自動車)への給電



環境学習の機会の提供、情報発信

ちちぶ吉田元気村多電源化実証実験事業

～埼玉エコタウン・イニシアティブプロジェクト～

現状分析

- ◆木質バイオマス等の発電量が不十分で、レクリエーション施設「吉田元気村」施設全体の電力自立ができない。

【必要量】 75kW

【供給量】 50kW(木質バイオマス、太陽光)



木質バイオマス発電; 40kW



太陽光発電; 10kW

- ◆使用済みてんぷら油のリサイクル施設が十分に活用されていない。

導入後

《創エネ》

牽引式バイオディーゼル燃料発電機(10kW × 3基 = 30kW)の設置

+ (プラス)

《省エネ》 照明のLED化で電力自立

- ◆使用済みてんぷら油の収集を通じて、バイオマス活用の住民運動が拡大

- ◆NEDOの新エネ百選(地産地消の優れたモデル)としての取り組みを全国に発信

＜問い合わせ＞ 埼玉県 秩父市(環境部 環境立市推進課)

〒368-8686 埼玉県秩父市熊木町8-15

電話 0494-22-2378/FAX 0494-22-2309

メール kankyo@city.chichibu.lg.jp